※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳述政治・経済（実教出版）						
副教材等	最新政治・経済資料集（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済という科目では、現代における政治・経済・国際関係などについて、広い視野に立ってその理解を深めるとともに、それらを多面的・多角的に考察し判断してレポート課題をまとめたりグループで議論し発表したりすることを通して、社会を形成する一員として国内外における様々な課題について考察・選択・判断することのできるような力の養成を目指します。

2　学習の到達目標

・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・社会を形成する一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解している。 ・諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	・社会を形成する一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明している。 ・判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	・よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１部 第１編　現代日本の政治	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本的性質 ・日本の政治機構 ・現代日本の政治	a: 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めるとともに、現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 b: 政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: 現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原理における学習上の課題を意欲的に解決しようとするとともに、よりよい社会の実現のために、民主政治の基本原理とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	・定期考査 ・ワークシート提出	・定期考査 ・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力

※令和４年度以降入学生用

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第1部 第2編 現代日本の経済	・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ ・現代経済と福祉の向上	a: 経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めるとともに、現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 b: 経済活動について多面的・多角的に考察し、表現させる。 c: 現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとするとともに、よりよい社会の実現のために、経済社会の変容とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	・定期考査 ・ワークシート提出	・定期考査 ・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力
	第1部 第3編 現代日本における諸課題の探究	・地域社会の自立と政府 ・防災と安全・安心な社会の実現 ・歳入・歳出両面での財政健全化 ・産業構造の変化と起業 ・食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化	a: 現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得するとともに、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 b: 現代日本における政治・経済の諸課題の解決に向けて、政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述している。 c: 現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・ワークシート提出	・ワークシート提出 ・グループ研究・発表 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・グループ研究・発表 ・振り返りフォーム入力

※令和４年度以降入学生用

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
３学期	第2部　グローバル化する国際社会の諸課題	・現代の国際政治 ・現代の国際経済 ・国際社会の諸課題の探究	a: グローバル化する国際社会における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得するとともに、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 b: グローバル化する国際社会における政治・経済の諸課題の解決に向けて、政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述している。 c: グローバル化する国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・ワークシート提出	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度